

■大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館協力事業 大阪市阿倍野市民学習センター講座■

田辺聖子がいた時代

～十八歳の日記と「ハイミス」小説～

◇開催:第1回 2026年2月6日(金)、第2回 2026年2月20日(金)◇

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館（大阪府東大阪市菱屋西）は、協力事業として、大阪市立阿部野市民学習センターで、講座「田辺聖子がいた時代～十八歳の日記と「ハイミス」小説～」（全2回）を開催します。講師は、白川哲郎 本学学芸学部リベラルアーツ学科教授と、住友元美 本館学芸員です。

本件のポイント

- 大阪を代表する作家として親しまれ、「昭和の語り部」とも呼ばれた田辺聖子。昭和100年をふりかえる講座〈シリーズ昭和〉で、田辺聖子のいた時代を紐解く
- 近年発見された、田辺聖子の十八歳の日記から、女学生田辺聖子と終戦前後の学生生活について知る
- 田辺聖子さんの代名詞でもある「ハイミス」小説を通じて、田辺聖子が書いた〈戦後〉にふれる

■田辺聖子の十八歳の日記と「ハイミス」小説について紹介する

「おせいさん」と呼ばれて親しまれた、大阪を代表する作家、田辺聖子。少女時代から古典文学に親しみ、大阪弁でかろやかに恋愛を描き、エッセイの世界でも人生の達人ぶりを發揮したおせいさんは、多くの読者のこころをつかんで、昭和から平成へと駆け抜けました。

今回の講座では、近年新たに発見されたおせいさんの十八歳の日記と、彼女の代名詞でもある「ハイミス」小説についてお話しします。

■「田辺聖子がいた時代～十八歳の日記と「ハイミス」小説～」

日 時 ①2026年2月6日(金)、②2026年2月20日(金) 両日 13:30～15:30

申込期間 2025年12月10日～2026年2月5日

開催場所 大阪市立阿部野市民学習センター

受講料 3,000円(全2回分)

講 師 ①白川哲郎(大阪樟蔭女子大学学芸学部リベラルアーツ学科教授)

②住友元美(大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館学芸員)

定 員 60名(申込先着順)

申込方法 大阪市立阿部野市民学習センターへ電話または来館のうえお申し込みください。

また、インターネットでのお申し込みは↓こちらから。

https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/yoyaku/m/jm/KozaEventDetailInfo.html?jigyo_cd=85136

お問い合わせ先：大阪市立阿部野市民学習センター

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階

TEL: 06-6634-7951 TEL: 06-6634-7951 FAX: 06-6634-795

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材・掲載のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<本リリースに関するお問合せ先> 学校法人樟蔭学園 学園広報課(担当:服部・高田)

TEL: 06-6723-8152(直通)(平日9時～17時) FAX: 06-6723-8263

E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp